

三浦三崎荒磯のスリルを味わいに行く



(関東ふれあいの道 No. 1 三浦・岩礁のみち)

2013年7月15日 月曜日・祭日(海の記念日) 17000歩 10.3km

コース: 三崎海岸駅→松輪(京急バス停下車)→間口漁港→剣崎→江奈湾→白浜毘沙門天→毘沙門児童公園→盗人狩→宮川湾→宮川町バス停(16時19分乗車)→三浦海岸駅にて解散

参加者: 吉越(L) 神谷(SL) 関根(SL)

剣崎灯台班: 山内 藤崎 常盤 平林 高橋文 青松秀 内田成 福士 鈴木淳

盗人狩り班: 熊島 平嶋 戸田 仲 小野寺 中村 河野 加来 高林 斉藤優

江奈湾班: 熊坂 吉野 板垣 伊藤眞 内田絵 村上 小林 北村 落合 奈良 計32名

剣崎灯台班



青松: 海の日が例会となった関東ふれあいの道の第1コースでした。スイカ畑が当あたり一面、大小たくさんなっていました。皆で食べるためのスイカをぶら下げて剣崎より海岸沿いを歩く。ここはウォーキングやふれあいの道というより、時には崖沿いを歩きちょっと怖いようなコースでもありました。江奈湾、盗人狩海岸の向こうには城ヶ島大橋が見えて、波しぶきも白く砕け周りの風景が中国の水彩画を見ているようで壮大な景色でした。暑さが続いてもここでは海水浴ができないのか、来るのが大変なのか、あまり人も少なかった。こんなところで津波でもあったら逃げ場がなく、長い間のんびりとしてられないような場所でしたが、みんな元気でよく歩き、けがもなくてよかったような。磯の香りとスリリングな荒磯、岩礁のウォーキングであり、真夏にはぴったりでしたね。

いのか、来るのが大変なのか、あまり人も少なかった。こんなところで津波でもあったら逃げ場がなく、長い間のんびりとしてられないような場所でしたが、みんな元気でよく歩き、けがもなくてよかったような。磯の香りとスリリングな荒磯、岩礁のウォーキングであり、真夏にはぴったりでしたね。



毘沙門海岸にてハ〜イ皆さあ〜ん こっち向いて〜!

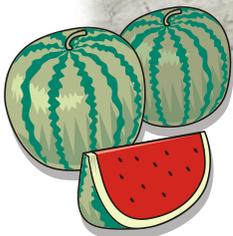
江奈湾班



盗人狩班



河野：平塚駅から三浦海岸駅までは一時間半、何度か乗り継いでやっと着きました。スイカ畑をみながら間口漁港まではのんびりでしたが、剣崎から江奈湾・毘沙門湾・盗人狩のコースは岩場を歩き、想像していた「関東ふれあいの道」とは、ほど遠くスリル満点でした。盗人狩の海岸は岩礁と断崖ですばらしい眺めです。途中で食べた三浦スイカの甘いこと、打ち寄せられたゴミが沢山あったこと、役割の終えたような剣崎灯台も印象に残りました。暑い中でしたが、皆で楽しく歩けた思い出になる「海の日」になりました。ちょっと気になる山もあるので、涼しくなったらまた来たいと思います。



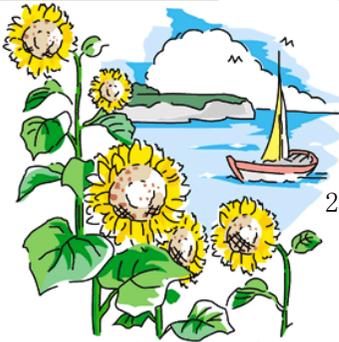
盗人狩の撮影ポイントでヤレヤレといった表情です。

奈良：三浦岩礁のみちは三年前に友人と二人で強風の中を歩いて以来でした。今回は大勢で楽しく歩け荒々しい岩礁も皆で歩けば怖くない！灯台にも行けて暑さの中でしたが、スリリングなふれあい歩きを堪能しました。

皆さん暑い中お疲れ様でした。三浦海岸駅で見送る空しさ味わいました。元気で歩ける事は最高です。でも感想文を見て、タイトルに「スリルを味わう」を入れて皆さんどうでしたか、私本人は“やった”と思っているんですが！？ 編集：平野より

関東ふれあいの道 開催16回目

2番コース 油壺・入江のみち Aコース 3.4 km



晴れ

海の日ウォーク

A+Bコース 約13km 18000歩

2014年7月21日(月・祝日)

案内:小林直樹氏
(自然観察指導員)

コース:三崎口駅10時→バスで15分三崎港バス停→産直センターうらり→歌舞島公園→漣痕(れんこん)地層見学→海外町の地層(スランプ構造)→諸磯湾→油壺湾(ヨットレースでの遭難の碑)(海龍「特殊潜航艇」の船台と格納庫跡)→油壺バス停【ここまでが関東ふれあいの道】→荒次郎供養塔→三浦道寸供養塔→新井城空堀→(荒井浜にて昼食)→小網代の森→三崎口駅 15時40分着

参加者 会員39名 一般3名

1班	2班	3班	4班
奈良・班長	熊島・班長	河野・班長	熊坂・班長
吉越・L	神谷・SL	中村年・SL	藤原
藤崎	戸田	高橋文	新谷
吉野	高橋辰	小野里	深瀬
平嶋	平林	青松秀	山内
常盤	森山	内田絵	瀬戸
板垣	鈴木徳	内田成	加来
伊藤眞	平石一	福士	落合
清水修	中川	999山本	横田
高木	市村	999志村	清水靖
999賀上	勅使河原		



撮影ポイント/油壺湾



神谷: 今回の関東ふれあいの道「油壺・入江のみち」のコースの見どころは三浦水産卸売り市場や、歌舞島公園、神奈川県指定天然記念である二町谷の漣痕(れんこん)それにヨットで有名な諸磯湾、油壺湾であったと思う。三崎漁港は全国有数のマグロ基地であり、産直センター「うらり」でスタート前に見学、買い物を楽しんだ。又諸磯湾と油壺湾は天然の良好でありヨットハーバーとして使用されている。多くのヨットが係留されている光景は誠に素晴らしく外国に来ている錯覚に陥った。今回の撮影スポットでもある油壺湾でヨットを背景に全員で記念写真を撮った。



小林さん



常盤さん





常盤：風が気持ち良い海の日、蓮根地層や、オブジェの様な三浦の海岸線は目が離せない。特に油壺を背にした三浦道寸・荒次郎の墓は、単なる墓石ではない何かを感じた。鎌倉から300余年続いた名族三浦一族が北条早雲と壮絶な戦いの末、兵糧攻めにあい討死や自害をして果てた。道寸の生首は小田原をにらんで、海を飛んで松の梢に引っ掛かった。3年間人々を苦しめたが、久野の総世寺の住職が懇ろに経を上げ弔ったところ、天より、「これからはここの守り神になろう」と声がして、首は白骨になって下りて来たと言う。子供の頃から耳にし、総世寺も近い為、信じ込んでる節がある。議員先生の要点を得た説明と地元リーダーの案内で大変楽しめた。

整備されオープンされた小網代の森。ボランティア活動のおかげで真夏でも歩けるようになりました。

中村：小網代の森は、三浦半島の中央部、引橋の谷戸に発する小川沿いの森と湿原、その川が注ぐ小網代湾を含む一帯の自然を総称しているようです。その名も最近つけられたとか。今年から遊歩道が整備され、とても歩きやすく森の散策が出来るようになりました。子供からお年寄りまで歩く事ができます。夏休みにお孫さんを連れて自然観察もお薦めです。赤テガニが待っていますよ。(ただし、以前の森らしい小網代の森を歩いてみたかったです)

↓道寸の供養塔は小田原を望む断崖絶壁にあります



アカテガニを見つけました

油壺に住んでいた私は、祖母から道寸の首が小田原へ飛んでいったと、何度も聞かされ空飛ぶ首を想像していた。小田原の常盤さんは首が海を飛んできて、松の枝に引っかかったと幼いころから聞かされていたそうです。ウォーキングクラブに入って飛んで行った首がどうなったのか、話が結びついたのです！

案内人の小林議員さんは資料も見せながら、声も大きくゆっくり話していただき、みなさん引き込まれていたようです。小網代の森を抜けたところで女性が脱水症になり救急車を要請、勉強会のおかげで素早い対応ができました。幸い搬送先で回復しその日のうちに帰宅。足の弱い方を見守る体制を考えましょう。<吉越>

関東ふれあいの道 第4回／全17回

No.3 荒崎・潮騒のみち

2013年9月14日(土)
曇のち晴れ
16500歩
みち7.7km+前3.3km

参加者：吉越(L) 勅使河原
(SL) 関根(SL) 神谷 青松秀

平山 平野 小林俊
内田成 内田絵 熊坂

藤崎 熊島 落合
濱崎和 濱崎信

関水 小野里
佐藤秀 奈良

山内 高橋文
熊坂 清水修

新谷 伊藤眞
平石一 中村

西行 一般・白井 計30名



コース：三崎口駅10時出発→矢作入口バス停→円徳寺→和田長浜海岸→佃嵐崎(つくだらさき)→栗谷浜漁港→撮影ポイント「荒崎の弁天島 コンクリート橋手前」→荒崎公園→どんどんびき→荒崎バス停→熊野神社→長井漁港→富浦公園→荒崎入口の交差点→自衛隊武山駐屯地前の少年工科学校バス停

清水修：ここは三浦半島、“荒崎・潮騒のみち”

近づきつつある台風の影響なのか、海を隔てて臨めるはずの富士山は影も見えない曇り空、やけに湿っぽくてじっとりと暑い。はあはあ、ひいひい、目に入る汗を拭うのもままならず、海辺の砂浜は足がのめりこみ歩みは重いが、時々思いがけなく頬を掠める涼風に一服の癒し・・・ KWCに入会のきっかけとなった今年5月の“三浦・岩礁のみち”以来、今回のウォーキングで多分7～8回目になる。時にはきつくて、“もうこれ限り”と思うこと一度ならずだが、終われば不思議と次のウォークが楽しみとなる今日のごごろである。



写真/左は伊藤さん 右が平石一さん



伊藤眞：柔い砂浜

歩きはきつい。透き通った海水の波打ち際を靴のまま歩く平石さん、この辺りは地面も硬く、楽ちんの様で気持ち良さそう。やはり靴脱ぎ歩きにトライすべきであったか？



笑顔は人を癒します、そして自分も元気になります。最高の笑顔に協力してもらいました！弁天島の撮影ポイントにて／吉越

関東ふれあいの道 第13回

4番コース 佐島・大楠山の道

2014年9月15日(月・祝) 晴れ 約19000歩 13km

コース: JR 逗子駅(バス)→大楠芦名口バス停→大楠山→前田橋バス停→立石公園→長者が崎→
一色海岸バス停(バス)→逗子駅

参加者: 中村(L) 平野(SL) 吉野 吉越 勅使河原 板垣 神谷 鈴木徳 熊坂 奴田 小野里 熊島
青松秀 佐藤繁 藤原和 新谷 深瀬 河野 佐藤秀 福士 清水修 栗田 横田 市村 高木
佐々木 中村ゆ 清水靖 平林勝 志村 小島ま 一般/和泉 星野 小雪 将太郎 合計35名



7月の雨を思い出しお天気を心配しましたが晴れてホッとしました。集合時間より早く集まって頂いたので予定どおりに出発できました。大楠芦名口から大楠山頂上へ続く道は道幅が広いのですが、きつい

上り坂で息が上がってしんどかった。そんな道も可愛い2人は先を競って走って元気いっぱいです。三浦半島の最高峰からは房総半島や大島も見えました。一面のコスモス畠をぬけて、下山道は慎重にゆっくり歩を進め、前田川の川音が聞こえやっと一息。バス停からは海を左に見て立石公園、長者が崎に立ち寄り、ひたすら134号線を歩きゴールの一色海岸バス停。長いような短いような一日でした。<中村年>

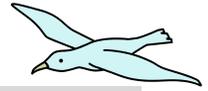


前田川を歩きます、楽しい~!



三浦半島最高峰からの景色

関東ふれあいの道 第一回



⑤稲村ガ崎・磯伝いの道 ⑥湘南海岸・砂浜のみち

2013年5月25日(日) 曇りのち晴れ ⑤14000歩 7.5km ⑥16000歩 10.8km

コース: ⑤鎌倉駅9時出発→由比ヶ浜→稲村ヶ崎→七里ガ浜→小動岬→小田急片瀬江の島駅

⑥小田急片瀬江の島12時30分出発→ニエール記念碑→鵜沼橋→辻堂海岸→サザンビーチ
茅ヶ崎→茅ヶ崎海岸→柳島海岸→浜見平団地バス停

参加者: 中村(L) 仲(SL) 神谷 小野里 青松秀 平山 平野 小林俊 小山文 北嶋 小島 内田成
藤崎 吉越 板垣 熊坂 内田絵 熊島 関根 斉藤優 福士 落合 濱崎和 渡辺り

⑥→大平 山内 平嶋 開米 合計28名

「関東ふれあいの道」踏破記念制度があります。神奈川県17コース全てを踏破した人に記念証と記念バッジが交付されます。交付を受けるには、各コースに定められた撮影ポイントで申請者自身を入れた写真を撮影する、各コースの簡単な感想(申請する人)が必要です。今回のポイントは稲村ヶ崎とニエール記念碑です。



稲村ヶ崎をバックに

小林: 本日から「関東ふれあいの道」がスタートを切った。由比ヶ浜で神谷実行委員長から概要、中村リーダーからコースの説明があった後、稲村ヶ崎に向け歩き始めた。岬から観たエメラルドグリーンの海は驚くほど穏やかで沖合に群をなしたヨットの白い帆が印象的で素晴らしい眺めだった。新田義貞の碑、ボート遭難の碑を読んで少し知識を得られたようだ。ここから七里ヶ浜をしばらくの間さわやかな浜風を肌で感じ、海の匂いを嗅ぎながら砂浜ウォーキングを楽しむ事になる。今日

のような穏やかな海はサーファー泣かせでその姿は疎らだった。子供たちが浜辺で遊んでいる姿をみて、一寸立ち止まり石ころをひっくりかえて見たが何も見つからなかった。小動神社の境内で早めの昼食をとったが、境内はトラピックス催行の行事に参加した大勢の人でごった返していた。この後コース⑤のゴール片瀬江ノ島駅に昼過ぎに到着した。お陰様で清々しいウォーキングを楽しむ事が出来ました。

⑤・⑥を歩き終えて。

曇り空が青空に変わり初夏の日差しをうけ、ゴール地点は未だかと頭を空っぽにして歩いた午後でした。全踏破を目標に！ 暑い中ご参加有難うございました。 <中村>



ニエール記念碑前

関東ふれあいの道 2回目 No.7 大磯・高麗山の道

2013年6月27日(木) 晴れ 23000歩 16Km

コース:JR茅ヶ崎駅10時(バス)→浜見平団地→湘南大橋→ボードウォーク→なでしこ公園→西海岸駐車場→高来神社→高麗山→湘南平→東海道松並木→旧伊藤博文邸跡→こゆるぎの浜→吉田茂銅像→城山公園前バス停→(バス)→平塚駅



参加者:高橋文(L) 仲(SL) 小野里(SL) 勅使河原 藤崎
吉越 吉野 神谷 伊藤眞 内田絵 熊島 斉藤優 中村
小林 関水 新谷 一般/丸山 岩永 菊池 市村 出口 小形 伴 計23名



前回の終着点浜見平団地よりスタート、湘南大橋を経て平塚入り、ボードウォークをビーチバレーやサーフィンを見ながら進む、浜風が心地よく吹き抜ける。なでしこ公園で昼食をとり、すぐ隣の西海岸駐車場へ到着。ここからがパンフレットで紹介されている大磯・高麗山の道のスタート地点である。高来神社を経て高麗山へ登る。東海道線の車窓からいつも見る山で、たかをくくっていたものの、急な登りの連続で、標高180mの山にしては、いささかきつかった。湘南平のテレビ塔の前で申請用の集合写真を撮る。この展望台からは最高の気象条件下でスカイツリーと東京タワーのツインタワーが見えると言われているが、本日は見えず残念、それよりも皆さん売店のカキ氷に大満足。東海道松並木・こゆるぎの浜を経て終着地城山公園前バス停に到着。 <高橋文>

内田絵: 今回の関東ふれあいの道コース、本当はもう少し先の大磯に近い所から始まっているそうだが、前回の終了場所まで行き、キッチリと繋げて歩きたいというリーダーさん達の心遣いに感謝しながら浜見平団地をスタートした。前日の天気予報では雨の確立が高かったけれど、海岸沿いを歩き始めたころには青空が広がって気持ちの良いウォーキング日和となった。少し波が荒いせいかサーファー達が沢山波間に漂って、今日は彼らにとってもサーフィン日和となってくれたようだ。ずっと海岸沿いに歩いてお昼頃なでしこ公園に到着、昼食休憩の後にはこれまでの海岸の平坦な道とは一転して高来神社の裏から高麗山～湘南平を目指して急坂を登り始めた。最近楽なウォーキングを選んでばかりのなまった体に鞭打ってようやく湘南平の紅白の鉄塔下に到着することが出来た。爽やかな風が吹き抜ける中、眼下にさっきまで歩いていた湘南の海が青空の下に輝いて素晴らしい光景が広がっている。やっぱりウォーキングはやめられない、こんなご褒美が待っているんだもの……と思った一瞬だ。今回の写真ポイント「鉄塔」をバックに記念撮影、これで写真は3枚になった。できれば全コースに参加して認定証を頂きたいと思いながら帰途についた。



関東ふれあいの道 第7回 No.8 「鷹取山・里のみち」

晩秋の里山を歩く！



2013年12月14日(土) 快晴 20000歩 11km

コース:二宮駅集合9時45分→月京バス停→東の池→鷹取山→妙円寺→土屋一族の墓→大乘院
杉山神社→南平橋バス停解散

参加者:熊坂(L) 吉野(アドバイザー) 平野(SL) 勅使河原 藤崎 常盤 神谷 高橋文 伊藤眞
小野里 青松秀 内田絵 熊島 新谷 中村 河野 佐藤秀 福士 清水修 栗田 山川 横田
一般中村(栗田さんの友人) 計23名



鷹取神社社殿にて

栗田:のどかな田園風景を抜けていざ！鷹取山へ。登り、登り“あれれ！先週の「鎌倉七切通し」よりきつかったりして！？”汗を拭きつつ、ストック突いて何とか頂上の神社に着き、皆で集合写真を「パチリ」。そこはうっそうとした森の中。もう少し頑張って山を下って、眺めの良い広場で横並びにシートを敷いて、童心にかえて楽しいお弁当タイム。そこからは大山の稜線、眼下には畑(何を作っているのかしら?)が見え、大満足！おすそ分けもあちこちから、コンビニおにぎりに+αとなって美味しく頂きました。帰りのバス停のコースには大乘寺の新築の山門(なんと！それだけで1億円との事)を見たりして、充実したふれいの道ウォーキングが出来ました。

清水修:師走も半ば、それでも丹沢の峰々は良く晴れた青空に明るく映えて眩しい。つい幾日か前までは、この景色を錦に織っていただろう落ち葉が積もり積もった鷹取山の登山道をガサゴソ。息を切らしハアハア登り、そして下って・・・ここは関東ふれあい「鷹取山・里のみち」。コース半ば、路傍の展望台では昼食と暫しの休憩。この冬一番の寒気とのことだが風は穏やか、プチ登山を頑張っただけの汗ばんだ体には心地良いことこの上ない。この後はゴールの南平橋まで平坦な道を2～3時間とのこと。アフターウォークの情景が頭をよぎった。



☆私の予想通りの里山と最高のお天気に恵まれ、存分に晩秋を味わうことができました。<熊坂>

関東ふれあいの道・第8回 No.9 弘法大師と桜のみち

今年最初の「関東ふれあいの道」に行ってきました。

2014年1月11日(土) 快晴 18000歩 約13km

コース:小田急秦野駅9時43分バス乗車→南平橋→建速神社→東名道峰の上橋→権現山→弘法山
→新善波隧道→矢倉沢街道→吾妻山分岐→吾妻山→鶴巻分岐→坪ノ内バス停→鶴巻温泉駅
(15時解散)

参加者:平野(L) 勅使河原(SL) 藤崎 吉越 吉野 小作 荒波 常盤 神谷 鈴木徳 高橋文 伊藤眞
青松秀 内田絵 熊島 佐藤繁 小野里 中村 斉藤均 斉藤良 佐藤秀 福士 清水修 山川
横田 市村 一般参加(12名) 合計38名



冬枯れの澄み切った空気の弘法山周辺の関東ふれあいの道を一日楽しく歩きました。<平野>

関東ふれあいの道NO10「太田道灌・日向薬師のみち」

2014年2月26日(水) 晴れ 約12km

コース: 鶴巻温泉駅(バス)→坪ノ内バス停→長福寺→三ノ宮比々多神社→上粕谷神社→太田道灌の墓→よろい塚→諏訪神社→日向薬師バス停→伊勢原駅

参加者: 神谷(L) 平野(SL) 常盤 森山 鈴木徳 伊藤真 内田絵 内田成 新谷 小林 瀬戸 福士 清水 西行 市村 高橋紀 合計16名

今回の「太田道灌・日向薬師のみち」は記録的な大雪の為2回も中止を余儀なくされ、3度目の正直。

3月中旬並みの大変暖かく、素晴らしい天候に恵まれた。鶴巻温泉バス停から10分で坪ノ内バス停に到着。長福寺目指して元気良く出発だ。田園風景の中を進む。穏やかな太陽の日差しが気持ちいい。少し歩くと汗ばんできた。ほどなく八幡神社に到着。ここでストレッチとコース説明をおこなった。やがて、長福寺に到着。長福寺を過ぎ



るとのどかな風景の中を進む。後方に大山を眺め、前方には比々多神社の森が見えてきた。少し休憩をとり、次の目的地、上粕谷神社に向かった。神社の前に樹齢600年と言われる大きな樺が立っている。神社境内にも推定数百年と言われる古木が多数あった。ベンチとテーブルがあり少し早いがここで昼食にした。少し進むと七人塚と太田道灌の墓がある。道灌が主君上杉定正に「道灌謀反心」と疑われ暗殺された。その時攻撃を一手に引き受け討死した道灌の家臣七名の墓で七人塚と伝えられている。太田道灌公墓地をバックに証明写真を撮影し、日向薬師に向かって出発。産業能率大学湘南キャンパスが見えてきた。大学の敷地はかつて室町時代に勢力をふるった上杉定正「糟谷の館」の跡と言われている。定正の家臣太田道灌は江戸城を始め、川越、岩槻等の諸城を作りました、軍略に巧みな名将として知られている。讒言(ざんげん)にあつて定正に謀殺されるがその舞台となったのがこの糟谷の館と言われている。(産業能率大学説



明板)より。住宅地を抜けると鎧塚古墳があった。道端では地元産のミカンが売られていた。ゴールの日向薬師バス停に14時半に到着するもバス時間まで45分もあり、日向薬師まで往復し15時15分のバスで伊勢原行きに乗った。大山を望める田園風景の中、太田道灌や七人塚、奈良時代開創の日向薬師など歴史と文化に触れることができた一日でした。 <神谷>

関東ふれあいの道 10回目

No.11 「順礼峠のみち」

2014年3月8日(土) 晴れ 15000歩 10km

コース : 小田急伊勢原駅 10時15分発バス→日向薬師バス停→日向薬師→展望台→七沢神社→順礼峠→物見峠→むじな坂峠→白山・御門分岐→御門橋バス停→小田急本厚木駅

参加者: 藤崎(L) 神谷(SL)

【A班】高橋文班長 佐藤伊 勅使河原 藤崎 伊藤真 小野里 新谷 濱崎和 濱崎信 9名

【B班】河野班長 平野 福士 清水修 栗田 草野 横田 市村 8名

会員計18名

【C班】神谷班長 以下一般 吉田 山口 山下秀 平吹 山下五 鎮田エ 鎮田ク 松本

一般計8名

下見の時はあちらこちらに残雪があり、歩けなかったコースがあったりして心配しましたが、スカイブルーの天候に恵まれ、久し振りに暖かさも感じられる一日でした。朝日新聞のウォーキングのお誘いコーナーに掲載されたこともあり、一般の方が8名も参加されました。楽しく会話もはずみ、順礼峠の赤い帽子をかぶったお地蔵さまと共に昼食をいただき、次に待っている今日の見所、クサリがつけられた急坂に向かいました。参加者の健脚揃いのおかげで脱落もなく、無事、御門橋バス停に着きました。野菜や果物のお土産も手に入れ最後は家族思いのやさしい皆様でした。一般参加者から突然言われた言葉は「こちらのクラブはここがいいですね!」という言葉でした。私はこの言葉で色々あった大変さもどこかへ行ってしまったような気がしました。 <藤崎>

藤崎Lのコース説明と一般初参加8名の紹介



順礼峠 (坂東三十三箇所順礼道にある) 昔、順礼の老人と娘がこの峠を通りがかった時、松の木に潜んでいた悪者に斬殺されてしまった。翌朝無残な姿を発見した村人は哀れな順礼のために、地藏尊を建立し、供養したという。

NO12 丹沢山塊東辺の道 仏果山を歩く



2014年4月26日(土) 晴れ

19500歩 約12km

コース：本厚木駅—バス→坂尻バス停→半原越→仏果山(747m)→半原バス停—バス→本厚木駅

参加者：吉野(L) 五十嵐志(SL) 勅使河原 藤崎 吉越 五十嵐し 神谷 熊坂 高橋文 伊藤眞
青松秀 小野里 内田絵 斎藤優 新谷 宮野 関水 小島 山川 市村 草野 山下 山口
中村ゆ(本日入会) 合計 24名

草野：男性の多い総勢24名。ストレッチの後、小鳥のさえずりの中、元気よく出発しました。車の通らないアスファルト道をテクテク…。山吹や八重桜、キリの花等鮮やかな景色を見つつ、足元を見ると地面から生えたウツボカズラがこっちにもあっちにも…。こんなに沢山のマムシ草見たことない！しかもマムシ草に釣り糸をプラスした草が現れ、「これは浦島草」。

やがて一軒の店、「たけのこ弁当」「おにぎり」「桜もち」、それと



難所終わりました

今朝採れたタケノコをご夫婦が並べていま

した。ナ、ナント！小は¥100円、大は¥300の値段です。スーパーならこの3倍。帰り道に出会いたかった…(涙)。しかし重いのも何のその、何人かの人達が頑張ってリュックに詰めていました。やがて仏果山への登山口。石がごろごろした長い登り坂。そろそろ頂上だろう…と思いきや、いきなり岩肌むき出しの光景です。もはや道とは言えない！体の幅位で(ちなみに私はスリム？です)傾斜の激しい岩山を四つん這いになって必死に登りました。見下ろせば宮ヶ瀬湖が鏡のように光っています。周りを囲むV字型の山の連なり。芽吹き季節ならではの



濃淡のグラデーション。手の届く位置に咲いている赤紫色の三つ葉つつじ。やっと着いた展望台からは、花曇りながらも下界がハッキリと360度見渡せました。そして今度は下り坂でひざにきました。半原の停留所に着くなり、ビールで喉をうるおし、みんな嬉しそう。バスに50分揺られて本厚木駅へ。バスの中で入会してくれた若い美人さん1名。KWCはますます盛り上がりそうです。スリル満点、怖くて美しく、花の香りが漂っていた仏果山。歩ける内にもう一度来よう。青松さん、早く別荘建ててくださいね。



仏果山山頂

関東ふれあいの道 No.13

山里から津久井湖への道



2014年5月10日(土) 晴れ 23000歩 14.5Km

コース : 本厚木駅(8時50分バス)→半原バス停→葦尾根バス停→雨乞山→平井橋→津久井湖城山公園→城山→津久井湖→城山高校バス停→橋本駅(16時30分散)

参加者: 河野(L) 福士(SL) 藤崎 吉越 吉野 五十嵐志 五十嵐し 常盤 神谷 鈴木徳 奴田 高橋文 伊藤眞 小野里 青松秀 菊池 内田絵 佐藤繁 小山文 小山美 清水修 栗田 山川 横田 市村 高木 山下 山口 丹後 計29名

吉越: 仏果山と同じくらい大変でした。でも緑の景色は最高でした。下見に行ってくれた河野さん、福士さん2回も大変でしたね、ありがとう!!

菊池: 今日朝8時30分集合と前日に気づき、参加取消しも考えましたが何とか起きだしてスベリ込みました。眠い一日でした。

藤崎: 城山、津久井湖は初めて、やっと来られたよこびで気持ちはハッピーです!

清水修: 入会后丁度一年、昨年5月12日三浦海岸の時と同じ素晴らしい天気、時々吹く風が涼しくてとても気持ちが良かった。



ヨーロッパのような風景です



城山の頂上で 達成感の笑顔

市村: 雨乞山の山頂429mには小さい鳥居がありました。こんな山頂にもありなの? 城山山頂375mからの津久井湖はきれいでした。

~~~~~

あまり高くはないが雨乞山と城山の二つの山を登り降りするので少きついかないと思いましたが、健脚メンバー揃いで予定より早く着きました。ツツジの花が見ごろで緑の木々と爽やかな風とともに心と体が癒された一日でした。大勢の参加で不安でしたが皆さんのフォローで無事に下山できました。

ありがとうございます。 <河野>



城山の眼下に広がる津久井湖

種類の多い丹沢あんぱん  
・揚げパンは絶品



操業 170 年の酒蔵。  
「相模灘」という美味しいお酒があります。

# 関東ふれあいの道 第17回 神奈川県コース14番「峰の薬師のみち」

2014年11月15日(土) 晴

約16000歩 10km



コース: 橋本駅(バス)→城山高校前バス停→津久井湖城山公園・水の苑地

→三嶋神社→峰の薬師→三沢峠→梅ノ木平バス停→京王高尾山口駅

参加者: 神谷(L) 吉野(SL) 勅使河原 藤崎 吉越 熊坂 高橋文 小野里 青松秀 内田絵 内田成  
高林 宮野 清水修 栗田 市村 中村ゆ 志村 小島ま 合計 19名

2013年5月からスタートした関東ふれあいの道、神奈川県コース(17ルート)を、とうとう本日、全コース踏破しました。約1年半掛けての成果です。

丘陵コース、海岸コース、登山道コース等様々な自然に接し、景観を十分堪能する事ができました。延べ479名の多くの参加者があり、皆様に大変親しまれたコースであったと思われまます。

さて今日の峰の薬師のコースは、神奈川県と東京都の境三沢峠を接点として東京コースに繋がっています。



左手に青くキラキラ輝く津久井湖を見ながら、やや急な登り坂を歩き進むと峰の薬師に到着です。

峰の薬師は東京の新井薬師、高尾山の薬王院、大山の日向薬師とともに武相(武蔵、相模)四大薬師の一つとして数えられています。鐘撞堂の前で写真を撮り、三沢峠に向かい、一気に下山しました。秋晴れの清々しい天候の下、気持ちの良いウォーキングを楽しみました。お疲れさまでした。 <神谷>

**市村:** 城山高校前バス停を降りて津久井湖城山公園がスタート地点。5月10日の「関東ふれあい・山里から津久井湖の道」で城山から下りてきた所。半年ぶりの城山を懐かしい気持ちで写真を撮りました。季節は初夏から秋になりましたが「続きのウォーキング」気分で「峰の薬師への道」へ。天気は晴れ。



神奈川県コース(17ルート)を、「約1年半かけてとうとう本日 全コース踏破しました」と神谷副会長の挨拶。高尾山口駅にて

三島神社から峰の薬師東参道口へ。1時間ほどで峰の薬師に着きました。鐘楼の前で全員写真、紅葉には少し早かったですが、日差し越しに見ると綺麗でした。三沢峠から杉林の道を下りて梅の木橋へ。峰の薬師北参道口・石塔前で、関東ふれあいの道、神奈川県終了を祝して「バンザイ」の全員写真。

車道を歩いて雑踏の京王高尾山口駅へ。これから続く東京の「続きのふれあいの道」にも参加したいと思いました。

## 弘法大師と丹沢への道



2014年9月27日(土) 晴れ 17000歩 約10km

コース: 秦野駅バス→南平橋→東名高速峰ノ上橋→権現山→賀茂神社→名古屋→東公民館→小蓑毛バス停→蓑毛バス停→大日堂→蓑毛バス停(バス)→秦野駅

参加者: 常盤(L) 餐場(SL) 勅使河原 藤崎 神谷 熊坂 大平 奴田 伊藤眞 小野里 青松 佐藤繁  
新谷 宮野 関水 清水 山川 中川 市村 草野 山口 志村 一般/柳町 合計23名

**志村:** 私は旅行を楽しみの一つにしており、晩年(定年後)は妻とツアーに依る旅に年4~5回程度参加し、名所旧跡を見て回っておりますが今回ウォーキングクラブに参加し普段足をのばさない様な地域、場所を歩き(散策し)何か新しい旅というものを発見した様に思います。特に神奈川県内は、三浦半島地域を除き殆ど出かけることはありませんでした。ウォーキングの回を重ね少しづつ県内の史跡等にお



撮影ポイント/大日堂

ける歴史などを考えながら歩くようにしたいと思います。今回のウォーキングでの新知識は「タバコ栽培」で有名であった秦野においてタバコ栽培農家は一軒もなく生産量「0」であると地元の農家の方に聞きびっくりしました。(但しタバコ祭りだけは継続しているとの事です)又普段あまり見かけない草花を見る事が出来ました。これも一つの楽しみです、(いぼくさ、山ラッキョウ、ツリガネニンジン及び初めて見たタバコの花)私は本クラブに入会し、まだ1か月足らずですが皆様の温かいふれあいを頂き、心より感謝致します。



構内にタバコ花の飾り付



権現山から弘法山への並木



秦野タバコ祭りで駅は大賑わい。権現山(243, 5m)で富士山を仰ぎ見て昼食。蓑毛バス停(310m)まで上りの多い歩きでした。<常盤>

# 関東ふれあいの道・第5回 NO 16「大山参り蓑毛のみち」

2013年10月12日(土) 晴れ 約11km

コース:小田急秦野駅バス→蓑毛バス停→蓑毛越→阿夫利神社下社→二重の滝→見晴台→日向ふれあい学習センター→日向薬師バスセンター→小田急伊勢原駅

参加者:神谷(L) 吉野(SL) 藤崎(SL) 勅使河原 吉越 高橋文 伊藤真 小野里 青松秀 平山 内田絵 熊島 佐藤繁 新谷 加来 佐藤秀 清水修 一般/ 中川 笹田 合計19名



小田急秦野駅からバスで20分の蓑毛バス停が今日のコースのスタートだ。大山阿夫利神社への裏参道を杉木立の山道を歩き始める。上り坂の連続で息が上がってくる。「下社・日向薬師」への道標に従って山道を上ると、百回登山碑があった。百回登山に感心しながら石が敷かれた道を進み急坂を上ると蓑毛越

だ。

野外卓や、ベンチがあり、樹木越しに見える景色をみながら休憩をとり、大山参道の石垣に沿って山腹を進むと阿夫利神社下社に辿り着く、ここで昼食。参道の階段を下り茶店の脇を曲がり二重の滝へ。ここで集合写真を撮った。二重滝を後にして、



モミの原生林の山道を上ると見晴台だ。ここからの眺望は誠に素晴らしい。ここで休憩をとりかなり急な九十九曲を小刻みに右左にジグザグに曲がりながら下りていき、小橋を渡ると日向薬師ふれあい学習センターだ。日向林道に出て日向薬師バスセンターに向かった。 <神谷>

**平山:**「大山参り蓑毛のみち」は標高差450m。ふれあいの道の神奈川県17コースの中でも標高差で言えばベスト3に入る厳しいコース。「大磯高麗のみち」が標高差約200mだったのに、下りで足が痛くなったのを思い出し、どうしようか迷いましたが思い切って参加しました。蓑毛バス停から蓑毛越まで登りの連続は苦しかったのですが何とか頑張りました。阿夫利神社を経て見晴台までの道は鎖場や下を見るとちょっと恐いスリルのある場所もありましたが、緑に囲まれた歩き易い道で爽やかな風に吹かれながら楽しく歩きました。日向ふれあいセンターへの急な下りは、足の痛みが心配でしたが、何とか痛まずに歩き通す事が出来、ああ良かったと思っていたら、帰りの駅で階段を下りた途端「アイタタタ」・・・でした。



止まらない階段・・・



# 関東ふれあいの道 17回目 No.17「北条武田合戦のみち(後半)」



2014年10月19日(日) 晴れ 18000歩 正規なゴール/蕪尾根バス停まで7.8km+半原まで1.5km  
 コース : 本厚木駅改札 9時(9時20分のバス)→半僧坊バス停→海底(おぞこ)集落→角田大橋→戸倉集落→志田原→三増(みませ)合戦場あと・「三増合戦まつり」見学→志田峠→清正光(せいしょうこう、志田山朝日寺)→農工大牧場→蕪尾根バス停→真名倉坂→半原バス停→本厚木駅  
 参加者: 吉越(L) 藤崎(SL) 男性班長・市村 佐藤よ 勅使河原 神谷 高橋文 伊藤眞 小野里 青松秀 新谷 山内 宮野 加来 志村 / 女性班長・横田 藤原 深瀬 河野 福士 山川 中川 草野 高木 中村ゆ 小島ま 合計26名



三増合戦碑の前で

## 横田：アユに舌鼓！

気持ちの良い秋の日ざしの中を「三増合戦まつり」会場へ。鎧、兜に身を包み行列もなかなかのもので。本物かと思うほどの鎧、兜が青年達の手作と聞いてびっくりです。とてもよく出来ていました。会場では中津川で獲れた「アユの炭火焼」があり、勿論早速我々もアユに舌鼓！ なんと美味しい！ おまけに無料で配られた「ほうとう汁」もいただき幸せな気分でした。志田峠を経て清正光(志田山朝日寺)へ。3日間の合戦が続き、血田山朝日寺と呼ばれたほどの悲惨な状況だったそうです。境内からは刀が3刀見つかったとご住職が言っておられました。戦国時代の戦場だったとは・・・今はとてもどかな里山でした。

## 市村：2倍楽しめた「北条武田合戦のみち」



中津川の角田大橋を渡り、杉林の山道を登り、サトイモ畑などの道が上がっていく先に三増合戦まつりの幟、北条と武田の幟が林立していました。会場では、青空のもと大勢の観客を前に甲冑隊出陣式の鉄砲隊演技が行われ、「火蓋を切れー」の指揮のもと三段打ちなどが披露されました。無料の陣中鍋を頂き昼食。お土産に愛甲商工会女性部の酒饅頭を20分待ちで購入。ウォーキング+まつり、2倍楽しめた「北条武田合戦のみち」でした。

昨年11月24日(日) 前半の経ヶ岳(633.1m)を含む8.4kmを歩きました。今日はその続きです。後半は7.8kmでNo.17の距離合計は16.2kmになります。三増合戦まつりに合わせて開催。3年半前、山岡先生と歩いた志田峠付近は残土が空高く積まれ様変わりしていました。<吉越>



残土の山  
ここは相模原市 谷の向こうは愛川町



踊るアユ

400円のアユが300円に！  
交渉上手な班長さんはすごい！